

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム

～人と地域が共に育ち合い、自立した地域社会を実現～

第2期：中長期計画

令和4（2022）年度～令和8（2026）年度

令和4（2022）年4月

目次

基本理念.....P. 3

1. 豊田市及び豊田市高等教育のそれぞれの現状と課題.....P. 4

2. ビジョン・目標と取組内容.....P. 10

基本理念

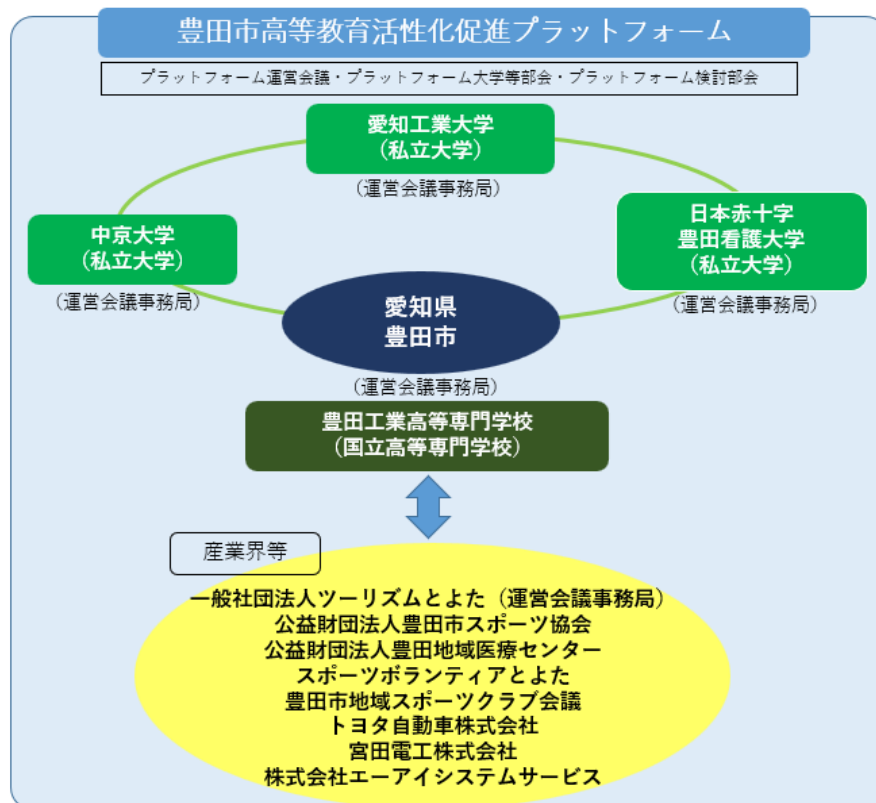
「高等教育機関と豊田市・産業界の連携強化により、人と地域が共に育ち合い、自立した地域社会を実現」

豊田市に所在する私立大学（愛知工業大学・中京大学・日本赤十字豊田看護大学）、国立高等専門学校（豊田工業高等専門学校）、地方自治体（豊田市）、産業界等（豊田市内に所在する企業等）が連携することによって、これらの課題に取り組むため、2017年10月にプラットフォームを形成しました。

本プラットフォームの特徴は、「ものづくり」をはじめとする地域の特性を踏まえ、大学、高等専門学校、地方自治体、産業界等がそれぞれの得意分野を活かして連携・協力して様々な取組を行うことにあります。それらの取組により、有能な人材の育成と地域社会での活躍を促し、地域社会の発展に寄与するとともに、高等教育の活性化に繋がると考えます。本プラットフォームではその目的を達成するために、現状分析、課題・目標、具体的な実行計画を中長期計画にまとめました。

第2期中長期計画には特に重点化すべき取組のみが記載されていますが、第1期：中長期計画（平成29（2017）年度～令和3（2021）年度）においてまとめられた取組については、引き続き各参画組織にて適宜行うこととします。

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム運営会議 体制図



1. 豊田市及び豊田市高等教育のそれぞれの現状と課題

1.1 豊田市の状況

以下の内容については、全て「Web 統計とよた（豊田市）」及び「豊田市 人口ビジョン（豊田市 令和 3（2021）年 3 月）」、「豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（豊田市 令和 3（2021）年 3 月）」から抜粋

(1) 基礎データ

図表 1-1 豊田市の面積・人口・世帯数・大学等数のデータ

(令和 4（2022）年 1 月 1 日現在)

面積	918.32 k m ²		
人口	419,048 人		
世帯数	182,571 世帯		
大学数	4 校（短期大学数は 0 校）		
高等専門学校数	1 校		
人口構成	性別	男	217,762 人
		女	201,286 人
	年齢階層別	65 歳以上	101,455 人
		15～64 歳	263,030 人
0～14 歳		54,563 人	

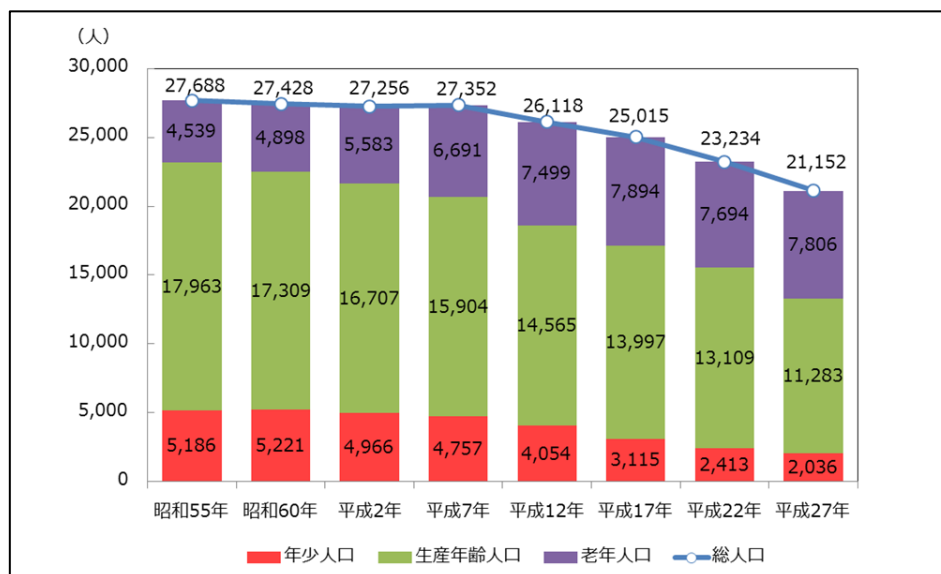
「Web 統計とよた」（豊田市）より抜粋

(2) 豊田市の人口動態と産業

① 豊田市山村部の総人口及び年齢 3 区分別人口推移

山村地域においては、豊田市の総人口が増加傾向にある一方で、人口は減少しており、市全体とは異なる特徴や地域特有の課題を有している。

図表 1-2 豊田市山村部の総人口及び年齢 3 区分別人口推移



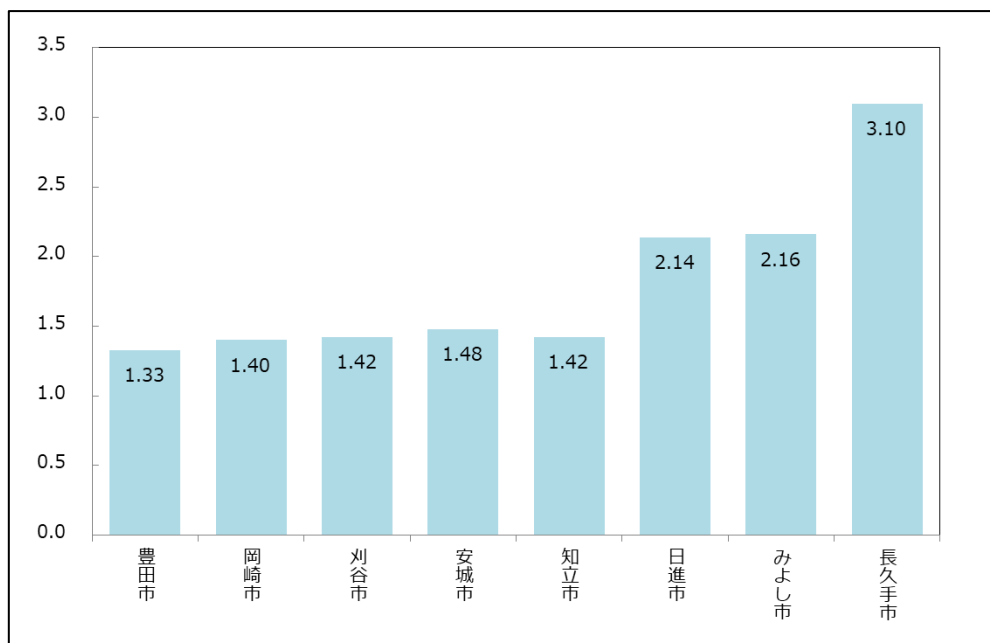
「豊田市 人口ビジョン（豊田市 令和 3（2021）年 3 月）」より抜粋

②豊田市とその周辺の総人口の増減

総人口の昭和 55 年に対する伸びは 1.33 となっており、豊田市に隣接する周辺市と比較すると、最も低くなっている。なお、日進市、みよし市、長久手市は昭和 55 年に対する伸びが 2 を上回っている。

図表 1-3 豊田市とその周辺の総人口の増減

(昭和 55 (1980) 年=1 とした平成 27 (2015) 年人口)



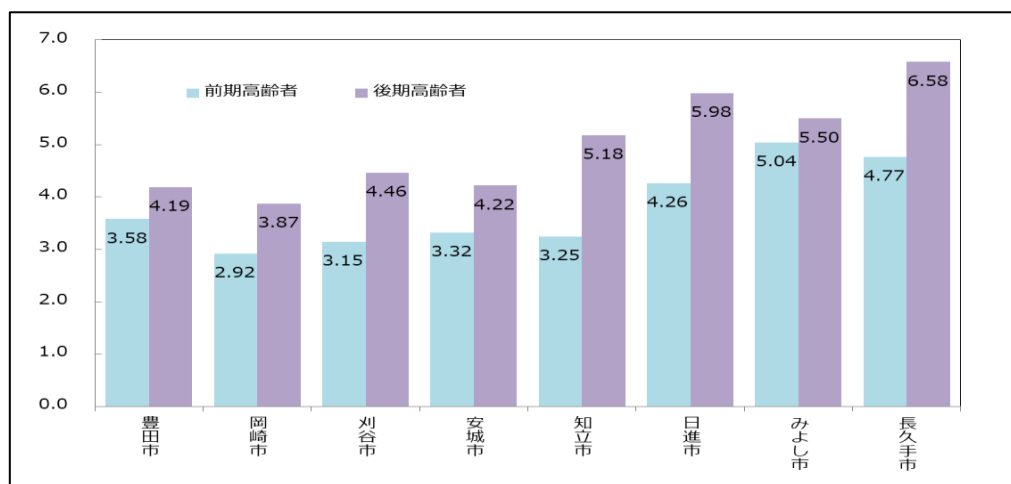
「豊田市 人口ビジョン (豊田市 令和 3 (2021) 年 3 月)」より抜粋

③高齢者人口の増減

高齢者人口の増減は、前期高齢者 (65~74 歳) の昭和 60 年に対する伸びは 3.58、後期高齢者 (75 歳以上) の昭和 60 年に対する伸びは 4.19 である。

図表 1-4 豊田市とその周辺の高齢者人口の増減

(昭和 60 (1985) 年=1 とした平成 27 (2015) 年人口)

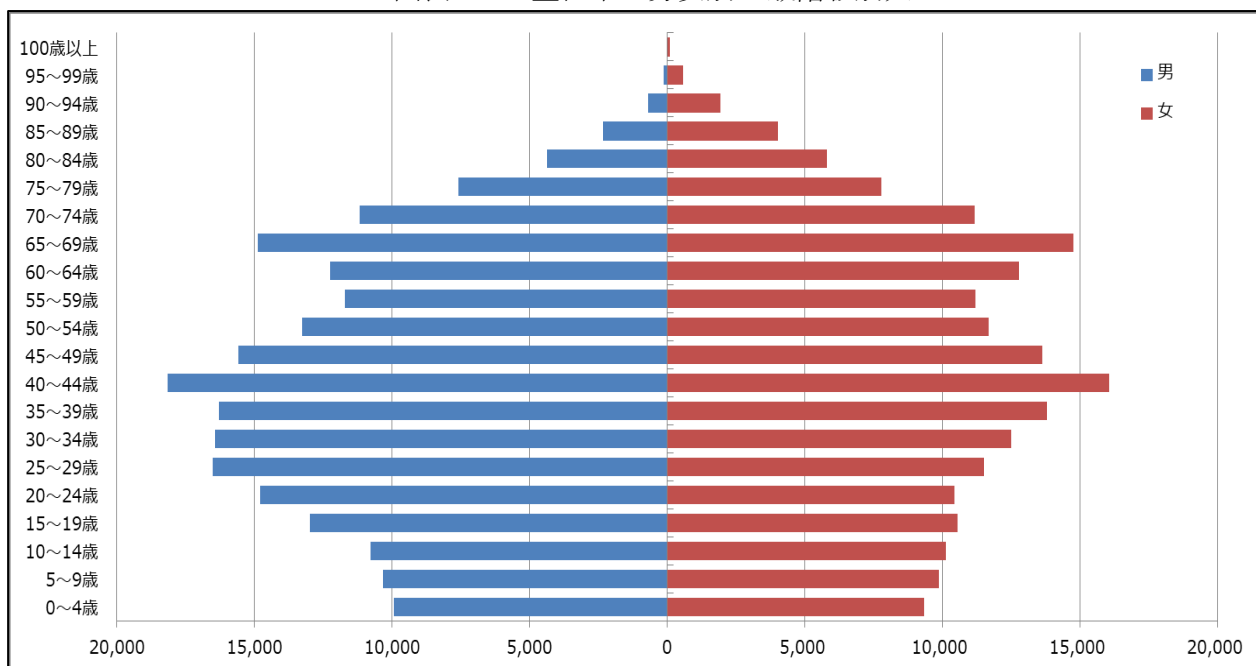


「豊田市 人口ビジョン (豊田市 令和 3 (2021) 年 3 月)」より抜粋

④豊田市の男女別5歳階級別人口

20代後半から40代の男性人口が多い点が特徴である。また、団塊の世代よりも団塊ジュニアの方が人口に占める割合が大きい。

図表 1-5 豊田市の男女別5歳階級別人口

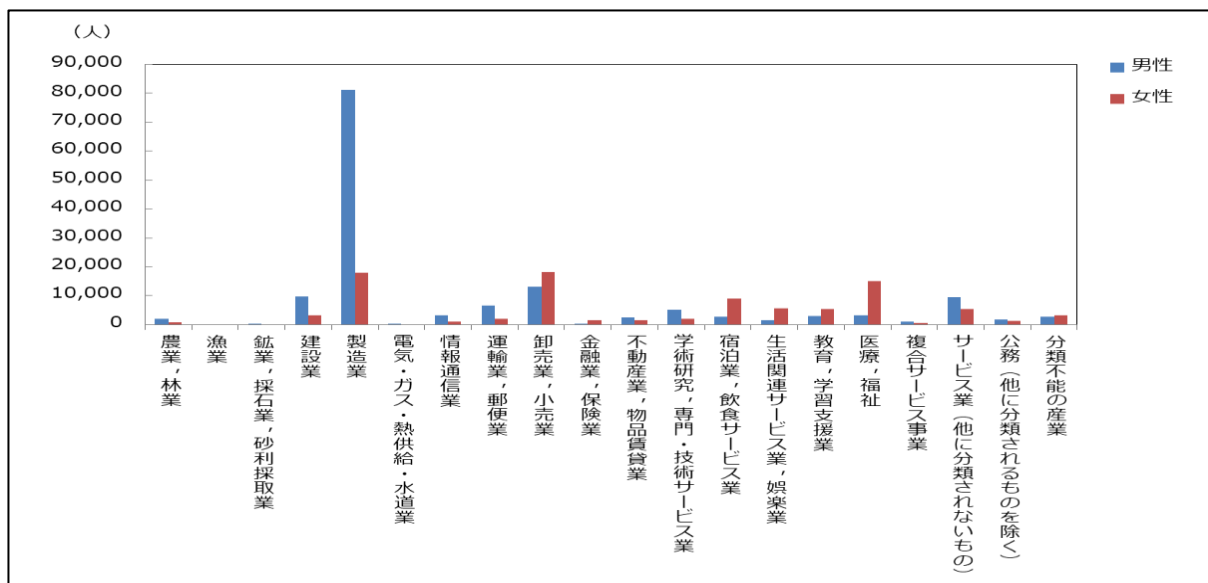


「豊田市 人口ビジョン（豊田市 令和3（2021）年3月）」より抜粋

⑤産業分類別男女別就業者（有業者）数

男性は「製造業」での就業が多く、突出している。次いで、「卸売業，小売業」、「建設業」の順である。一方、女性は「卸売業，小売業」での就業がもっとも多く、次いで「製造業」、「医療，福祉」の順である。

図表 1-6 産業分類別の男女就業者（有業者）数



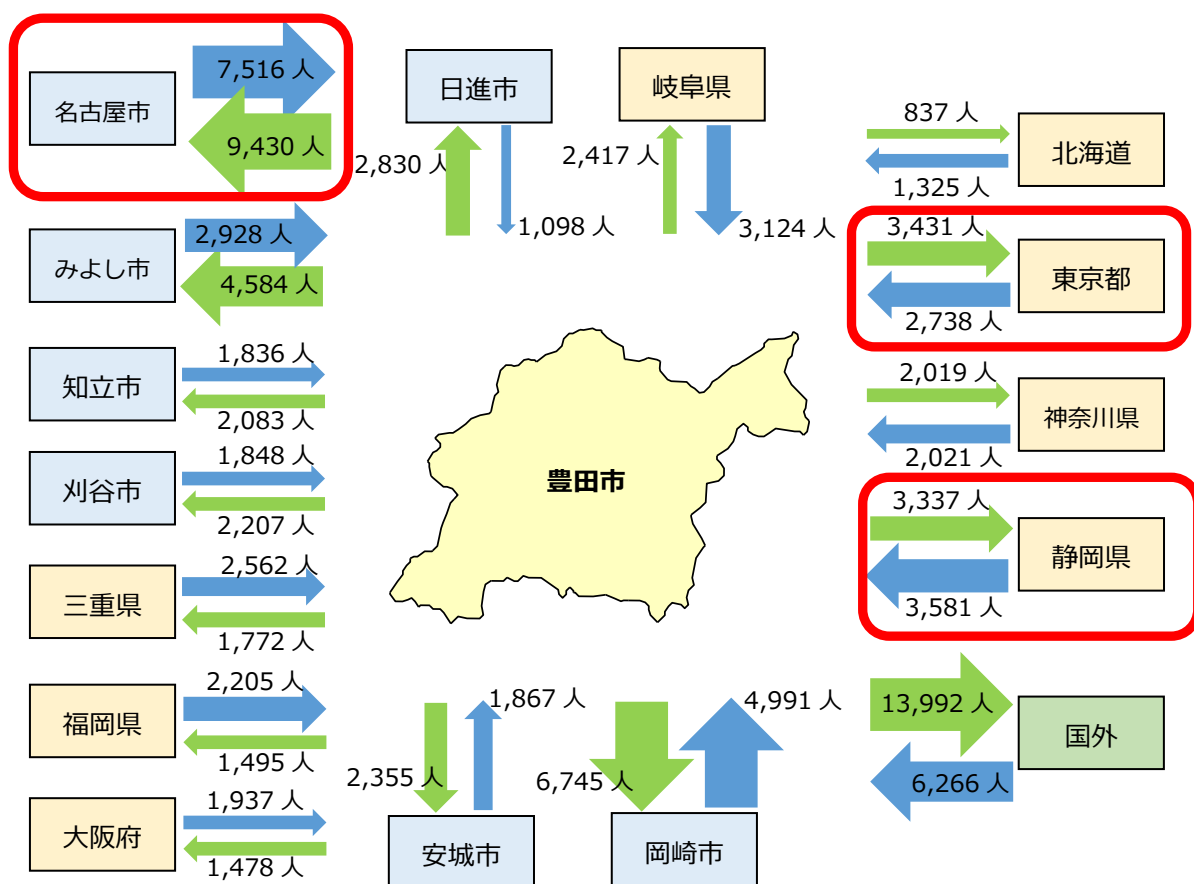
「豊田市 人口ビジョン（豊田市 令和3（2021）年3月）」より抜粋

⑥周辺市及び県外との間での転出入者数

平成26年から令和元年の市の転入者数をみると、県内では名古屋市が多く、次いで岡崎市、みよし市、安城市、刈谷市などの西三河地域が多くなっている。県外では静岡県、岐阜県、東京都などからの転入が多い。また、国外からの転入者数もかなりの割合を占めているといえる。転出者数は、県内では名古屋市が多く、次いで岡崎市、みよし市、日進市、安城市、刈谷市、知立市などが多くなっている。県外では東京都、静岡県、岐阜県、神奈川県、大阪府、福岡県、三重県、北海道の順である。

図表 1-7 周辺市及び県外との間での転出入者数

	県内他市	国内県外	国外	従前の住所無し	合計
転入者数	35,323	36,249	6,266	11,888	89,726
転出者数	45,425	29,051	13,992	0	88,468



「豊田市 人口ビジョン（豊田市 令和3（2021）年3月）」より抜粋
 ※平成26年（2014）年度から30（2018）年度までの異動累積人口

1.2 豊田市の地域特性と取り巻く環境変化

上記「1.1 豊田市の状況」で示したデータを踏まえ、本プラットフォームでは豊田市の地域特性と課題を以下のように捉えている。

日本全体が人口減少社会に移行する中、本市は世界的な自動車産業の集積地として 40 万人都市に発展してきた。しかし、今後は、本市においても超高齢社会の到来や人口減少局面を迎えるなど人口構造の大きな変化が予測されているほか、産業面においても国内市場の縮小などによる構造変化といったリスクが存在する。

各種人口データでも示したとおり、豊田市の人口は、自動車産業の拠点性の高さから就職期にある 20 歳前後の若者が全国から集まる一方、家族形成期にある 30 歳前後の世代が県内他市に転出している。また、合計特殊出生率は横ばいの状況にあるものの、出生数の減少及び高齢化率の上昇が顕著であり、豊田市が将来にわたって市民生活や地域を支える活力を維持していくためには、急激な人口減少を回避するとともに、バランスのとれた世代構成への転換を図ることが必要である。

その実現に向けては、一定の人口吸引力を維持するため、産業で日本をけん引する都市として、社会の変化に対応しながら強い産業を維持することが必要である。また、同時に都市と山村地域が近接・共存する特性を生かし、観光振興や多様な暮らしの実現のみならず新たな産業を生み出すことで、国内外や市域内を含めた新たな人の流れや循環をつくる必要がある。また、人を呼び込むだけでなく定住人口を確保するため、住宅・宅地等の提供を図るほか、豊田市で暮らすことの豊かさや魅力を生み出すことが必要である。

このことを踏まえ、本プラットフォームでは、特に若者が本市で暮らし、世代を超えて住み続けたいと思うまちの実現を目指し、「人と地域が共に育ち合い、自立した地域社会を実現」という基本理念を設定している。

以上のことから、本プラットフォームでは、豊田市の地域特性と課題を以下のとおり整理した。

【豊田市の特性】

- 世界的な自動車産業の拠点として発展してきた都市
 - ・自動車産業の生産拠点が集積
 - ・日本全国から就職期の若年層が流入し、他都市と比べて若い年齢構成
- 豊かな自然、多様な歴史・文化を持つ都市
 - ・県内でも有数の農業生産額を誇り、豊かな森林や水資源を始めとした自然や歴史・文化など多様な地域資源を有する
 - ・文化・スポーツなどの公共施設も充実し、世界的なイベントが開催
 - ・名古屋市を中心とした大都市圏の一部として、大学教育や商業施設を始めとした高次の都市サービスを享受しつつも、日常生活に必要な医療・福祉等の機能を有し、比較的自立性の高い生活圏を形成
- 多様で充実した担い手を有する 40 万人都市
 - ・住民が主体となって多様な地域活動を展開する自治区の存在
 - ・企業等の様々な団体が、活発な社会貢献活動を実施
 - ・市民活動団体、大学や高専などの学生、ビジネス関係での来訪者を含む外国人市民など、多様なまちづくりの担い手を有する

【豊田市を取り巻く環境変化と課題】

○超高齢社会の進展

- ・医療・介護サービス供給体制の確保と健康寿命、幸福寿命の延伸に向けた取組
- ・若年層の転入人口の減少や家族形成期世代の転出超過への対応

○産業構造の大転換

- ・自動車産業の国内市場の縮小や国際競争の激化、CASE や MaaS の進展への対応

○新型コロナウイルス感染症による「新たな日常」

- ・感染対策に伴う経済活動や日常生活の制限、デジタル化の進展

○大規模自然災害・気候変動

- ・南海トラフ巨大地震や豪雨災害への対応

○持続可能な開発目標 (SDGs) や世界的なイベント開催によるレガシー

- ・SDGs の普及啓発や地域課題の解決の加速化、WRC 開催を契機とした市民活躍の推進

○厳しさを増す財政状況

- ・法人市民税の一部国税化や地方交付税の合併特例の終了
- ・公共施設等の老朽化に伴う維持補修費や社会保障費の増大

1.3 豊田市の高等教育の現状

豊田市には、大学4校、高等専門学校1校が所在し、そのうち80%を占める4大学等（愛知工業大学、中京大学、豊田工業高等専門学校、日本赤十字豊田看護大学）で今回のプラットフォームを形成する。プラットフォームを形成する4大学等においては、幅広く6つの学問分野（工学、情報学、経営学、社会学、看護学、健康・スポーツ科学）を有し、特に「ものづくり」の拠点である豊田市において、「工学」「情報」分野が充実していることが特徴である。また、上述した産業分類別データでは、医療分野に就業する女性の数が比較的多いことを示していたが、本プラットフォーム形成大学等には、看護学分野があるため、地元の医療施設等への就職促進と地域医療現場のさらなる充実を図ることが可能となる。さらに、4大学等のうち、半数の2大学（愛知工業大学、中京大学）が健康・スポーツ分野を有しており、地域住民の健康・スポーツの促進に寄与することを目指している。なお、愛知工業大学と中京大学においては、名古屋市にもキャンパスを構えており、人文系・社会科学系の幅広い学問分野のリソースを豊田市の課題解決のために、活用することも可能である。プラットフォーム形成大学等では共同IRを実施しており、地域の高等教育の現状及び課題分析(IR)を行っている。詳細については、豊田市高等教育活性化推進プラットフォームのHP内にて事業関連資料の公開を行っている（URL：<https://www.toyota-pf.jp/data.html>）

1.4 豊田市の高等教育の課題

豊田市と豊田市及びその近隣にキャンパスを置く大学等においては、平成27（2015）年度に包括連携協定を締結した。協定締結以降、豊田市と個々の大学等は相互の取組分野において、協力体制、規模等を拡大してきた。今後さらに、豊田市と大学等及び大学等間が相互に補完し、連携をより強化することで、各高等教育機関が持つリソースを十分に活用し、豊田市を取り巻く「超高齢社会の進展」「産業構造の大転換」「SDGs」といった社会環境の変化に

伴う諸々の課題に取り組んでいくことが求められる。

また、プラットフォーム形成大学等も地域構成員の一員として、少子高齢化にもつながる若年層の転入人口の減少に寄与すべく、地元豊田市からの志願者数・入学者数や地元企業への就職者数を増やしていくことが必要である。そのためには、プラットフォーム形成大学等の取組が地域住民や地元産業界に認知され、魅力と感じてもらえることが必要になるが、周知や情報交換等がまだまだ不足しているのが課題である。

2. ビジョン・目標と取組内容

前項の現状分析と課題を踏まえ、本プラットフォームを形成することにより豊田市と豊田市にキャンパスを設置する大学等間の連携をさらに強化し、豊田市の高等教育を活性化するため、次のようにビジョン・目標を掲げて中長期計画を推進する。

2.1 ビジョン

プラットフォームを形成する高等教育機関のリソースを有効活用し、豊田市の地域課題である「郷土愛の醸成」や「地元就職の促進」、「健康意識の醸成」、「スポーツ活動の促進」を始めとした12の課題とそれに対する取組を行うことで、地域の課題解決と豊田市の「地域経営戦略プラン」に掲げる多様な主体と共働・連携した課題解決の拡大・深化に向けて「人と地域が共に育ち合う環境づくりに寄与する」ことを本プラットフォームの将来ビジョンとして掲げる。

《人と地域が共に育ち合う環境づくりに寄与する》

- ① 郷土愛の醸成
- ② グローバル意識の醸成
- ③ 地元就職の促進
- ④ 健康意識の醸成
- ⑤ 防災意識の醸成
- ⑥ 環境教育の推進
- ⑦ ボランティア活動の推進
- ⑧ 地域学習支援の推進（学校教育活動の支援）
- ⑨ ものづくり事業の更なる展開
- ⑩ スポーツ活動の促進
- ⑪ 生涯学習の推進
- ⑫ プラットフォーム形成組織の連携強化

2.2 目標と取組内容

中長期計画における推進する事業全体の目標として、実施期間を令和4（2022）年度から令和8（2026）年度の5か年とし、計画当初に設定した各種課題について、計画の拡大、進展のため、12の課題のうち、いずれかの課題の取組件数を毎年1つ以上増やすことを数値目標とする。

各課題の目標及び取組内容、活動指標は以下のとおりとする。なお、設定した課題に対しては、以下のとおり、アウトカム指標を設定した。

<アウトカム指標>

1. 就職割合の向上：プラットフォーム形成大学等から豊田市に所在する企業等への就職者割合について、各大学等の過去4ヵ年平均と比較してプラス1%の増加を目指す。

【関連課題（上記アウトカム指標を達成するための課題）】

- ①郷土愛の醸成、③地元就職の促進、⑨ものづくり事業の更なる展開、⑫プラットフォーム形成組織の連携強化の各取組

2. 運動習慣の向上：1日60分以上運動する①小学生の割合②中学生の割合を維持・向上させることを目指す。

<現状値> ①小学生：38.7% ②中学生：69.5%

【関連課題（上記アウトカム指標を達成するための課題）】

- ④健康意識の醸成、⑧地域学習支援の推進（学校教育活動の支援）、⑩スポーツ活動の促進、⑪生涯活動の推進

3. 入学者割合の向上：豊田市に所在する高等学校からプラットフォーム形成大学等への入学者割合を各大学の過去4ヵ年平均と比較してプラス1%の増加を目指す。

【関連課題（上記アウトカム指標を達成するための課題）】

- ⑧地域学習支援の推進（学校教育活動の支援）、⑩スポーツ活動の促進、⑪生涯活動の推進、⑫プラットフォーム形成組織の連携強化の各取組

<目標及び取組内容>

① 郷土愛の醸成

目標①-1	教員の知見等を活用したまちづくりへの参画機会の向上	
No	取組内容	活動指標
1	<u>行政課題に対する研究・事業の提案と実現</u> ○具体的内容等：豊田市をフィールドとし、大学等の知見や教員の研究成果を活用したまちづくり等に関わる研究または事業の提案と実現。 ○実施体制（主担当）：豊田市	提案数3提案以上 または1提案以上の実施/年
目標①-2	学生のまちづくりへの参画機会の向上	
No	取組内容	活動指標
2	<u>学生が参画するまちづくり事業の実施</u> ○具体的内容等：学生の視点を活かした、豊田市をフィールドにした魅力あるまちづくりの提案と実現。 ○実施体制（主担当）：豊田市	提案数3提案以上 または1提案以上の実施/年

No	取組内容	活動指数
3	<u>松平郷天下泰平の竹あかり開催協力</u> ○具体的内容等：集客や開催に学生たちが協力し、当該イベントのさらなる活性化を目指す。 ○実施体制（主担当）：中京大学	1回以上／年

② グローバル意識の醸成

目標②	グローバル意識を醸成するためのボランティア活動を実施	
No	取組内容	活動指標
1	<u>「スポーツボランティアとよた」（スポボラとよた）への学生ボランティア参加</u> ○具体的内容等：FIA 世界リー選手権など世界的なイベントにおいて、会場案内等のボランティア活動を通じて、グローバル意識を醸成する。 ○実施体制（主担当）：豊田市	1回（大会）以上／年
No	取組内容	活動指標
2	<u>「外国人研修生の研修生活」への学生ボランティア支援</u> ○具体的内容等：タイ、韓国、スウェーデンからの外国人研修生受け入れに際し、ホームステイ先の提供および研修生のサポートを行う。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	2回以上／年
No	取組内容	活動指標
3	<u>「豊田市在住の外国人子どもへの健康支援」への学生ボランティア参加</u> ○具体的内容等：パラレル人学校（EAS）の児童・生徒に対し身体測定を実施し、個々の成長の変化を把握するため個別記録用紙に測定値を記入する。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	2回以上／年

③ 地元就職の促進

目標③	各大学等の強みを活かした就職支援の他、インターンシップ等を通じた豊田市への就職等、地元就職を促進する	
No	取組内容	活動指標
1	<u>地元自治体・地元産業界等への就職促進の取り組み</u> ○具体的内容等：豊田市人事課、産業人材活躍課等と協力し、豊田市で働く魅力について学生へ周知するための取組を行う。 ○実施体制（主担当）：愛知工業大学	1回以上／年
2	<u>豊田市の医療施設への就職を促進するために就職説明会の開催</u> ○具体的内容：就職説明会を開催することにより、本学学生が豊田市の医療施設へ少しでも多く就職を希望するよう推進する。	1回以上／年

	○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	
3	<u>豊田市役所へのインターンシップ</u> ○具体的内容等：まちづくり、農業、環境、産業振興、福祉、技術、保育、消防、防災など、多岐にわたる豊田市の業務について、インターンシップ等を通じて体験。 ○実施体制（主担当）：豊田市	インターンシップ等参加者 5名以上/年 ※各大学等1名以上
4	<u>豊田市役所の業務説明会</u> ○具体的内容等：豊田市人事課の協力のもと、豊田市役所職員の業務について説明会を開催し、学生たちに就職先として、地元自治体への関心を高める。 ○実施体制（主担当）：中京大学	1回以上/年

④ 健康意識の醸成

目標④		地域住民の健康意識を高める
No	取組内容	活動指標
1	<u>ブラジル人学校における身体測定の実施</u> ○具体的内容等：ブラジル人学校に通う児童の身体測定（身長・体重等）を行う。身体計測値を経年的に記録できる用紙（冊子）の作成。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	1回以上/年
2	<u>ブラジル人学校における健康教育の実施</u> ○具体的内容等：ブラジル人学校（EAS）の女生徒に対しPMS（月経前症候群）講習を実施する。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	1回以上/年
3	<u>体育館、運動場等の施設利用の促進による地域住民の健康意識の向上</u> ○具体的内容・目標等：体育館・運動場等の施設利用を地域住民に促すことで、積極的に運動等を行っていただき、健康の促進及び健康に対する意識を高める。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	100件以上利用促進/年

⑤ 防災意識の醸成

目標⑤		学生・地域住民の防災意識を高め、災害発生時に備える
No	取組内容	活動指標
1	<u>リスクマネジメント体制の評価・点検</u> ○具体的内容等：豊田PFのリスクマネジメント体制が十分なものであるか自己評価するための協議を行う。 ○実施体制（主担当）：愛知工業大学	1回以上/年

2	<p><u>共同の防災教育プログラムを実施</u></p> <p>○具体的内容等：キャリアアップを目的とする「防災マスター養成講座」（履修証明プログラム）を共同で実施する。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学</p>	1回以上／年
3	<p><u>豊田市学生機能別団員（学生消防団員）</u></p> <p>○具体的内容等：学生消防団員として、大規模災害時に迅速かつ効果的に対応できるよう、防災及び消防に関する知識や技術を習得するための訓練を実施する。</p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市</p>	1回以上／年
4	<p><u>豊田市と大学との人事交流</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市防災対策課の職員が地域防災研究センターの客員研究員となり、自治体の大学が協力して、地域の防災力向上するための体制を整える。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学</p>	1名以上／年
5	<p><u>BCP セミナー</u></p> <p>○具体的内容等：BCPの必要性や、作成時の重要な視点や、事業所としてやるべきことを整理し、施設と従業員の安全安心の確保と事業の継続についてセミナー形式で学ぶ。</p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市</p>	1回以上／年
6	<p><u>豊田市自主防災リーダー養成講座</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市自主防災会の会員などを対象に、防災に係る活動や啓発を地域で推進するリーダーを養成するため、学生を中心に構成された防災研究会のメンバーとともに防災講座を行う。</p> <p>○実施主体（主担当）：豊田市</p>	1回以上／年
7	<p><u>防災士資格試験の実施</u></p> <p>○具体的内容等：地域の防災力向上を目指し、防災士資格取得講座を開講し、地域の防災士有資格者の増員を図る。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学</p>	1回以上／年

⑥ 環境教育の推進

目標⑥		地域環境の改善を促進する
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>「持続可能な未来へ向けての地域連携」</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市環境部循環型社会推進課と協力して、ごみ減量に関する冊子等を製作し、豊田市民へ環境意識改善の促進につながる取組を実施する。</p> <p>○実施体制（主担当）：愛知工業大学</p>	1回／年

⑦ ボランティア活動の推進

目標⑦	授業形式によるボランティア教育と実際に現場で体を動かすボランティア活動を推進することにより、地域貢献意識を高める	
No	取組内容	活動指標
1	<u>地域イベントへの参加</u> ○具体的内容等：学生が自治体主催のイベント等にボランティアとして参加し、地域に根ざした活動や活性化に向けた取組を実施する。 ○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	3回／年
2	<u>地域イベントへの参加</u> ○具体的内容等：学生・教員が自治体主催のイベント等にボランティアとして参加し、地域に根ざした活動や活性化に向けた取組を実施する。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	3回／年
3	<u>地域イベントへの参加</u> ○具体的内容等：学生が自治体主催のイベント等にボランティアとして参加し、地域に根ざした活動や活性化に向けた取組を実施する。 ○実施体制（主担当）：愛知工業大学	3回／年

⑧ 地域学習支援の推進（学校教育活動の支援）

目標⑧	学生・教員・初等中等教育機関が一体となり、初等中等教育に対する教育活動支援を行う	
No	取組内容	活動指標
1	<u>豊田市の初等中等教育機関との意見交換</u> ○具体的内容等：豊田市教育委員会との連携に関する覚書に基づき実施する。 ○実施体制（主担当）：中京大学	1回程度／年
2	<u>豊田市における教育支援活動の実施</u> ○具体的内容等：豊田市在住の児童・生徒あるいはその保護者に対する教育支援活動を実施する。 ○実施体制（主担当）：中京大学	1回以上／年
3	<u>高校生対象の職業意識を醸成するための進学情報交換会等を実施</u> ○具体的内容：看護をよく知ってもらい、将来、看護師として就職を希望する者を増やしたいため、進学情報交換会等を実施する。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	1回以上／年
4	<u>公開講座、「とよたサイエンスクラブ」の開催</u> ○具体的内容等：小中学生向け公開講座、理科教室及び豊田市と連携した「とよたサイエンスクラブ」の講座を開催する。公開講座リストを4月に市内小中学校への郵送及びウェブ公開等により周知し実施する。 ○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校	公開講座（豊田市内開催）：5講座／年 とよたサイエンスクラブ：2講座／年

5	<u>小学校水泳指導事業の実施</u> ○具体的内容等：近隣の小学校の水泳授業を大学のプールで実施し、学生たちが児童の指導を補助する。 ○実施体制（主担当）：中京大学	1校以上／年
6	<u>MIRAIへ繋ぐ夢の教室 in 豊田</u> ○具体的内容等：スポーツ選手等を小中学校に派遣し、キャリア教育に寄与する講演を行う。 ○実施体制（主担当）：中京大学	企画1回以上／年
7	<u>豊田市の初等中等教育機関への防災教育</u> ○具体的内容等：豊田市防災対策課と協力して、小学校・中学校に対し、防災意識の醸成や地域の実情に応じた防災教育を実施する。 ○実施体制（主担当）：愛知工業大学	3回以上／年
8	<u>豊田市の高等学校での看護ベーシック（授業）支援</u> ○具体的内容等：豊田高等学校生徒に対し、本学教員による看護ベーシック授業を行う。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	2コマを22回／年
9	<u>豊田市の高等学校への健康生活支援演習の実施</u> ○具体的内容等：豊田高等学校生徒に対し、本学教員による健康生活支援（日常生活動作や災害などの身近な問題を題材にした活動）演習を行う。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	1回以上／年
10	<u>豊田市の高等学校での課題研究への助言</u> ○具体的内容等：豊田西高等学校課題研究（SSH）へ本学教員を派遣し、生徒の発表内容に対して助言を行う。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	1回以上／年

⑨ ものづくり事業の更なる展開

目標⑨	地域発イノベーションを創出し、地域産業の進展に寄与する	
No	取組内容	活動指標
1	<u>大学及び豊田地域医療センターによる共同研究・施設での実証実験</u> ○具体的内容等：大学と地元産業界等による共同研究を実施する。研究テーマは、「転倒の予測に基づく下肢麻痺者用の生活支援ロボットのハズフレィ動作制御」である。プラットフォームで研究内容を共有し、ご意見や助言をいただくことで、内容の向上に努める。 ○実施体制（主担当）：愛知工業大学	1回以上／年
2	<u>大学、豊田市による地域農業支援の共同研究・休耕地での実証実験</u> ○具体的内容等：大学と地元自治体等による共同研究を実施する。研	1回以上／年

	<p>究テーマは、「草刈り作業の省力化に関わる研究開発および実証実験」である。プラットフォームで研究内容を共有し、ご意見や助言をいただくことで、内容の向上に努める。</p> <p>○実施体制（主担当）：愛知工業大学</p>	
3	<p><u>新技術・新産業創出支援セミナー・イベントの開催</u></p> <p>○具体的内容等：IoT等の新技術・新産業創出支援に関するセミナー・イベント等を開催する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	5 件以上／年
4	<p><u>製造技術者育成講座の開催</u></p> <p>○具体的内容等：「機械製図の基礎講座」等の製造技術者育成のための講座を開催する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	4 講座／年
5	<p><u>Society5.0に対応できるものづくり技術者の育成（「デジタル×ものづくり」カレッジ）</u></p> <p>○具体的内容等：学生と現役地元企業技術者との混成チームによる「デジタル×ものづくり」カレッジを1年間（4月～3月）にわたり開講する。</p> <p>○実施体制（主担当）：豊田工業高等専門学校</p>	1 講座／年

⑩ スポーツ活動の促進

目標⑩	地域の子供達を中心に令和8（2026）年開催のアジア大会（名古屋開催）も見据え、地域住民のスポーツ活動を促進する	
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>イーグルススポーツスクールの開催</u></p> <p>○具体的内容等：小中学生など、子どもを対象にしたスポーツ教室を開催し、基礎的な運動能力及び体力の向上を図る。</p> <p>○実施体制（主担当）：中京大学</p>	5 回以上／年
2	<p><u>中京大学子どもスポーツフェスタの開催</u></p> <p>○具体的内容等：スポーツを体験・体感するイベントを開催し、子どものスポーツ離れや体力低下等の課題解決に寄与する。</p> <p>○実施体制（主担当）中京大学</p>	1 回以上／年
3	<p><u>とよたスポーツフェスティバル</u></p> <p>○具体的内容等：スポーツの関心を高めるため、アスリートと触れ合い、スポーツに親しむ機会を提供する。</p> <p>○実施体制（主担当）豊田市</p>	企画 1 回以上／年
4	<p><u>キッズスポーツフェスティバル</u></p> <p>○具体的内容等：幼児（年中・年長）から小学3年生を対象に球技から武道まで3種目のスポーツ体験を提供する。</p> <p>○実施体制（主担当）豊田市</p>	企画 1 回以上／年
5	<u>地域スポーツ教室推進連携事業 スタンツ教室</u>	5 会場 各会場 16 回

	○具体的内容等：小学1年生～4年生を対象に運動遊びや器具を使った多様な運動に親しむ機会を提供する。 ○実施体制（主担当） 豊田市	以上／年
6	<u>地域スポーツ推進連携事業 こどもの運動遊び教室</u> ○具体的内容等：市内こども園・幼稚園の年長を対象にこどもの運動遊び教室を開催する。 ○実施体制（主担当） 豊田市	80園 各園2回以上／年
7	<u>地域スポーツ推進連携事業 パラスポーツ体験会</u> ○具体的内容等：市内各小学校に通う児童を対象にパラスポーツ体験会を開催する。 ○実施体制（主担当） 豊田市	企画1回以上／年
8	<u>地域スポーツ推進連携事業 走り方教室</u> ○具体的内容等：市内小学校の3年生を対象に走り方教室を開催する。 ○実施体制（主担当） 豊田市	60校 各校1回以上／年
9	<u>シニア健幸教室</u> ○具体的内容等：60歳以上を対象に体力再生教室を開催する。 ○実施体制（主担当） 公益財団法人豊田市スポーツ協会	10回以上／年
10	<u>豊田マラソン</u> ○具体的内容等：豊田マラソンにて、ストレッチブースの設置や救護、運営スタッフの協力を行う。 ○実施体制（主担当） 豊田市	1回以上／年

⑪ 生涯学習の推進

目標⑪		高等教育機関と地域が一体となり生涯学習を推進する
No	取組内容	活動指標
1	<u>地域住民に対する公開講座等の実施</u> ○具体的内容等：地域の保健・医療・福祉の向上及び地域医療の質の向上に寄与することを目的に地域住民を対象とした公開講座等を実施する。 ○実施体制（主担当）：日本赤十字豊田看護大学	5回以上／年
2	<u>高等教育のグランドデザインに関する議論の実施</u> ○具体的内容等：豊田市における長期的な高等教育の展望、教育の質の保証、各高等教育機関の役割や、18歳人口の減少等を踏まえた地域の高等教育の将来像等について議論する。 ○実施主体（主担当）：中京大学	1回以上／年
3	<u>公開講座「豊田PF 参画大学等によるSDGsに関する取組み」</u> ○具体的内容等：豊田PFに参画する大学等のSDGsに関する取組について、講座を配信し、生涯学習の機会を創出する。	10講座／年

	○実施体制（主担当）：中京大学	
--	-----------------	--

⑫ プラットフォーム形成組織の連携強化

目標⑫		豊田市と大学等間の連携を強化し、豊田市の高等教育を活性化する
No	取組内容	活動指標
1	<p><u>プラットフォーム共同のFD・SDの実施</u></p> <p>○具体的内容等：FD については、プラットフォーム形成大学等が合同で実施することにより、大学等間の学術分野の共通理解を踏まえ、シラバスの書き方や講義方法など、授業の内容や改善方法を合同で話し合う場を設ける。SD については、プラットフォーム形成大学の経営資源を活用し、豊田市の協力のもと、地域の課題や高等教育の課題について、解決策を考える内容を中心とする。なお、FD・SD ともにプラットフォーム形成大学等対象のほか、他大学等も含めて広く展開する FD・SD も実施する。</p> <p>○実施主体（主担当）：中京大学</p>	1 回以上／年
2	<p><u>豊田市・大学間や大学間等の人事交流の実施</u></p> <p>○具体的内容・目標等：豊田市と大学の間や、大学と大学の間において人事交流を行うことで連携を深め、プラットフォーム活動を促進する。</p> <p>○実施主体（主担当）：中京大学</p>	企画：1 回／年 実施：1 回／年
3	<p><u>中長期計画の振り返りに対する地域の声を把握する取組</u> <u>および寄せられた意見を踏まえた施策検討</u></p> <p>○具体的内容等：中長期計画の振り返りをホームページで公開するとともに、市民からの意見を収集する施策を検討し、実行する。</p> <p>○実施主体（主担当）：中京大学</p>	企画：1 回／年 実施：1 回／年
4	<p><u>豊田市内のイベント等への出展を通じた豊田 PF への意見徴収</u> <u>および寄せられた意見を踏まえた施策検討</u></p> <p>○具体的内容等：豊田市民が集まるイベントにプラットフォームとして出展し、プラットフォームの活動や各学校の取組を紹介する。また、市民から直接ご意見を伺い、意見を分析することにより、今後の活動に生かす。</p> <p>○実施主体（主担当）：愛知工業大学</p>	企画：1 回／年 実施：1 回／年
5	<p><u>中京大学及び愛知工業大学による共同研究及び施設利用</u></p> <p>○具体的内容等：大学間による共同研究を実施する。研究テーマは、「長・短腓骨筋の等尺性足関節外転に対する貢献度および疲労耐性」である。プラットフォームで研究内容を共有し、ご意見や助言をいただくことで、内容の向上に努める。</p> <p>○実施主体（主担当）：中京大学</p>	1 回以上／年

[令和 8(2026)年 4 月改定]

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム運営会議事務局（問合せ先）

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2

学校法人梅村学園 中京大学内

TEL : 052-835-7138 FAX : 052-835-8091